

IV. 自己評価について

a) 学校の教育目標について

- ・「職業に必要な知識・技術を身に着け、それを資格・免許として示し、人間的に魅力あふれた職場で活躍できる職業人を育成する」ことを目標に、専門知識・技術や資格取得はもちろん、業界で必要な人間性の育成や個人の個性に合わせた指導を細やかに行っている。また、新しい時代に合わせて目的を再確認して育成を行うことを課題としている。

b) 教育理念・目的・人材育成について

- ・ 資格取得や就職のため講義・実習の授業を行うだけでなく、個人指導に力を入れ、チームで深い理解ができており、共通認識を持って学生・保護者対応ができています。
- ・ 業界のニーズとともに学生個々のニーズも踏まえて取り組んでいる。
- ・ 課題は時代に合わせた目標の設定。自己満足に陥らないように謙虚な姿勢を持ち、アンテナの感度を高くして改善していきたい。
- ・ 保護者の希望も変化しており、学生に負担の大きい教育や就職指導が時代にそぐわない面もあるため、常に見直しをかけている。

c) 学校運営について

- ・ 運営方針に沿った事業計画の策定は、教務部は学生募集をポイント。適宜行っている。
- ・ 理事会・本部会議で組織規則について明確に行っている。
- ・ 人事考課を行って人事給与を決定するとともに、財務もシステムが整備されている。
- ・ コンプライアンス体制は注意して活動しており、またホームページ等で適切に情報公開を行っている。
- ・ 課題は、教職員が所属する教務部に直接関係しない運営に対して理解の差があること。丁寧に説明していく必要がある。

d) 教育活動について

- ・ シラバスによって、理念に沿った教育過程の編成、実施方針等の策定は行われている。現在シラバスの見直しを担当教員が行っているため、体系的な評価は3となった。
- ・ 両学科ともに独自性のある授業を展開し、実践的なキャリア教育・職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などの実践に取り組んでいる。
- ・ 学校長・学科長と外部の方との意見交換を通じ、関連分野の企業関係施設等や業界団体等の連携によってカリキュラムの作成・見直し等を行っている。
- ・ インターンシップを実施し、それに伴う外部関係者の評価をいただいている。一方、コロナ禍で外部での研修は減っている。
- ・ 教育効果の上がるカリキュラムに改善するため、協力して取り組み続けることが課題。

e) 学修成果について

- ・ 就職率 100%を担保するため、担任から個々に対してフォローアップを実施している。ブライダル・ホテル科は 88%、デジタルクリエイション科は 90%の就職率となっている。
- ・ ホテルビジネス実務検定は 1 年生 15 名全員が受験、合格者 11 名。ブライダルコーディネート技能検定はコロナのため 2 年生 15 名中 11 名が受験、合格者は 7 名だった。
- ・ その他、任意ではあるが様々な検定が受験できるところが当校の魅力である。
- ・ 退学率の低減は、兆候が見られた時点で教員間の報告・指導を行う体制を整えている。
- ・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているかという点は、組織として取り組んでいるわけではないが、卒業生が個々に訪ねてきてくれ、状況を把握している。
- ・ 学生個々の能力差も大きく、学習取り組みの指導や評価方法の見直しが課題である。

f) 学生支援について

- ・ 進路・就職に関する支援体制の整備は、担任の個別フォローもあり評価が高い。
- ・ 経済的な支援体制は、奨学金やファミリー支援等の制度を整えている。
- ・ 健康管理は組織としての支援体制は足りない部分もあるが、（年 1 回の健康診断や日々の検温・体調管理を行い）担任ベースでフォローしている。
- ・ 課外活動に対する支援体制は、公欠等での個別許可で対応している。
- ・ 生活環境支援は、奨学金の支援等の情報を提供するなどで取り組んでいる。
- ・ 保護者との適正な連携については、担任から家庭への連絡を密に取り、欠席や成績不振について連携を図りながら行っている。
- ・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているかという項目は、社会人向けのコースを整えていないため不十分な点はある。一方、社会人経験を持つ方の入学を受け入れはこれまでも行ってきた。
- ・ 高校校等、専修学校等との連携によるキャリア教育、職養教育の取り組みとして、出張講座や進路説明会で十分行っている。
- ・ 課題として、（小規模な学校のため）学生支援の専門部署を組織化して行うことが難しい面がある。担任中心にきめ細かい個別指導を行いフォローアップしたい。

g) 教育環境について

- ・ 施設設備については、通常の学習の上で不足する部分はないと思われる。
- ・ 学内外の実習施設・インターンシップ・海外研修の場については、ブライダル・ホテル科はホテル実習や施設見学を行っているので十分対応できているが、デジタルクリエイション科は今後取り組んでいきたい。
- ・ 防災設備等は避難訓練や消防点検を受けているためある程度は整備されている。
- ・ 課題として、授業に必要なものは揃っているが、オープンキャンパス等に来ていただいた生徒に興味を持ってもらうような募集関係の施設設備が少し弱いところがある。

h) 学生受け入れ募集について

- ・ 18歳人口減少の中、若干昨年より応募者が増加し、ブライダル・ホテル科 22名、デジタルクリエイション科 18名の入学を予定。
- ・ 課題は、幅広い高校生に興味を持ってもらうため、職業そのものに関心を持ってもらうような取り組みが必要なことである。

i) 財務について

- ・ 経営基盤や収支計画・会計監査の規則を守り、情報公開も行っている。
- ・ 募集が計画通りに集まらなると窮する可能性はある。

j) 法令等の遵守について

- ・ 法令等は厳しく守るようにし、正直に行うように取り組んでいる。

k) 社会貢献・地域貢献について

- ・ ボランティアの案内をしており、公欠で対応している。できればブライダル・ホテルの分野で、職業に直結するようなボランティアやイベントに参加させたい。
- ・ 公開講座や出張講座で地域貢献を行っている。

V. 企業、業界団体から

a) 熊谷先生

- ・ ブライダルコーディネート技能検定の合格率を向上させたい。授業内容もアップデートし、伝える内容を変えていくべきだと改めて感じている。
- ・ 2階の学生ホールなどお昼の時間帯のコミュニケーションが、以前よりも取れているようで楽しそうにしている。
- ・ 保護者や卒業生の意見・感想を、（外部講師にも）フィードバックしてほしい。

b) 赤池委員

- ・ 企業が学校に求めるものを意識して改善を行っているのか。
→（学校長）先代より「私たちはサービス業だ」と言われた。受け入れる高校と送り出す企業を満足させない限り、まず入学してもらえない。ただし、最も大きな影響力を持つのは本人と保護者で、地域で悪い評価をされたら入学してもらえないため意識している。
- ・ 学校として企業訪問は全くしていないのか。
→（学校長）行っています。パンフレット撮影やインターンシップの際に話を聞いています。
- ・ 企業訪問は大切。卒業生のフォローや、企業にとって卒業生の足りない部分の要望調査ができ、（営業活動として）パイプ作りができる。

- ・ 専門的な技術と魅力的な人間力に加えて、社会的な常識力を意識して育成するといのではないか。高卒と大卒の違いは社会に慣れているかどうか、社会常識がどの程度なのかにある。ここを強化することで、黒木学園は違うなと評価を高めていく、即戦力として評価してもらえと思う。
- ・ ホームページはパンフレットに比べて（お金も時間も）かけ方が弱い。学生に語りかけたり、夢を含ませたりするような問いかけが、ホームページにあるとよいのではないか。
- ・ 将来的にデジタル分野が伸びる産業だと思うので、細分化・専門化する部分もあるが、バランスをとって取り組まれると一番伸びるのではないか。

c) 篠原委員

- ・ 卒業生をお預かりしているが、人間力はあると思うが、20歳に入社して半年～1年後には自立して親の年代と相対さなくてはならず、コミュニケーション力が重要になると思う。
- ・ ブライダル以外に進む方も多いと思うので、ホテル・旅館を学習するカリキュラムを入れて、人手不足の業界に人材を送り出してほしい。
- ・ 施設設備や教材が弱いという課題に対処するのか。
→（学校長）教材費を（募集の一環としての）どこまで施設設備にかけてよいものか、バランスが難しい。企業と連携して話を聞いたり見学したりというのが有効な手段と考える。
- ・ 退学率はどれくらいか。
→（学科長）卒業生は17名入学、15名卒業、2名退学。家庭の事情によって仕方ない部分もある。例年数名程度は退学をしている。

d) 福士委員

- ・ 自動車整備士1級の合格率は全国的にどれくらいか。
→（学校長）全国では30%前後、長野県内は20～25%です。
- ・ もし取れなかった場合は、もう1年学校に来るということは可能なのか。他校で、有料で卒業生が授業を受けられ、資格取得までフォローしているところがある。
→（学校長）卒業しているため基本的にはできない。就職が決まっているため、4月から働いている。過去不合格は3名。働きながら学校で夕方や夜に面倒を見て、翌年再受験し2名は合格している。1名はその後受験していない。
当校は資格取得のバックアップは無料で行っているが、（授業を受けられる仕組みなど）卒業後のバックアップも万全だと謳ってもよいと感じた。
- ・ パンフレットにブライダルコーディネーター技能試験の合格率を載せてはどうか。

VI. 卒業生アンケートについて

- ・ 入学理由は「ホームページを見て」が多い。
- ・ 学習面は満足だが、施設設備が普通となっている。

- ・ 教員については非常に満足してもらっているが、職業教育としてダメなことはダメとわかってもらえるよう、正しく理解して指導できるよう努めたい。
- ・ 就職対応は良い評価だが、より就職しやすい環境を整えたい。

VII. 次回開催について

令和6年3月：令和5年度 学校関係者評価委員会